

## 第1回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

会議名：第1回江南市市民協働・市民活動推進協議会

開催日時：平成29年9月21日（木）午前10時～午前11時45分

場所：江南市役所西分庁舎2階 大会議室

委員：出席委員10名

伊藤 由香（学識経験者）

後藤 正敏（公募市民）

中村 健一（公募市民）

真野 由夏（公募市民）

齋藤 雅治（市民活動団体関係者）

新 英子（市民活動団体関係者）

早瀬 裕子（市民活動団体関係者）

水野 浩子（市民活動団体関係者）

伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会職員）

坪内 俊宣（市職員）

事務局：片野 富男（市長政策室長）

矢橋 尚子（地方創生推進課地域協働グループリーダー）

原 知美（地方創生推進課地域協働グループ）

傍聴者：4名

資料1 江南市地域まちづくり補助事業 平成30年度募集要領

資料2 江南市地域まちづくり補助事業審査委員会設置要綱

資料3 江南市地域まちづくり補助事業 報償費割合表

資料4 平成30年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

議題	1. 江南市地域まちづくり補助事業について (1) 審査員の選出について (2) 審査会の日程について (3) 報償費の上限について (4) 審査方法について
	2. その他

はじめに、

#### 市長挨拶

本日は、大変お忙しい中、第1回市民協働・市民活動推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。日頃よりそれぞれのお立場で江南市政の進展のためにご尽力賜っておりますこと重ねてお礼申し上げます。

江南市では昨年度から2年にわたり、平成30年度から10年間の方針を示す最上位計画として、第6次江南市総合計画の策定に向けて、現在、最終的な段階に差しかかっております。

策定にあたりましては、これまでの人口増加を想定した計画ではなく、江南市人口ビジョンに基づき、人口減少社会を前提とした総合計画とし、人口減少に応じたまちづくりや地域社会の実現を、市民協働で目指すため、広く市民の皆様よりいただいたご意見を反映させながら、分かりやすい計画作りに努めてまいりました。

その中で、少子高齢化や核家族化、都市化の進行や近所付き合いのわずらわしさと地域のつながりの希薄化などから、地域の助け合い機能が低下し、家族や地域コミュニティの維持が懸念されております。

他方では、社会の成熟化、価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民の社会への貢献意識や参加意識は高まっております。

江南市におきましても、平成23年4月に「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」を制定し、市民自治によるまちづくりを推進しております。昨年、市が行いました市民意向調査では、「市政やまちづくり活動に参加している、あるいは参加したいと考える」市民が約6割に達してございました。

この市民の皆さんの思いを形にするために、市民の皆さんやNPO団体と力を合わせ、市民協働・市民活動によるまちづくりを推進してまいりますが、今後はこの「市民協働・市民活動」によるまちづくりを加速、それも行政目線を入れず、市民・NPO視点で進めてもらうため、市民・協働ステーションの運営を始め、「市民協働の推進」といった、これまで行政が担ってきたところを市民やNPO団体等にバトンタッチしようとも考えております。

今期の推進協議会は、この部分に、重点を置いていただきたいと思います。新しい試みであるため、大変ご苦勞をおかけすると思いますが、よろしく願いいたします。

#### 委員の委嘱及び会長の選出

市民協働・市民活動推進協議会設置要綱に基づき、伊藤 由香氏を会長に選出。

#### 市民協働・市民活動推進協議会会長挨拶

会長に選任されました、愛知江南短期大学学長、伊藤由香と申します。この協議会につきましても、前任から引き続きで委員をされている方がいらっしゃいますので、

ぜひご協力いただきまして、進めさせていただきたいと思います。今後とも、よろしくお願ひいたします。

#### 会議の公開等について

○事務局より説明

出席委員一同より了承されました。

#### 議題

##### 1. 江南市地域まちづくり補助事業について

○事務局から、平成 29 年度の募集要領と事業内容の説明がありました。

##### (1) 審査員の選出について

○事務局から、審査員について説明がありました。

会長	審査員の選出は話し合いにて決めていきたいと思ひます。
	新委員、早瀬委員、水野委員、中村委員を審査員へ推薦されました。
会長	それでは、審査員は新委員、早瀬委員、水野委員、中村委員にお願いをしたいと思います。
	新委員、早瀬委員、水野委員、中村委員より承諾されました。

##### (2) 審査会の日程について

○事務局から、審査会の日程について説明がありました。

会長	書類審査と公開審査会の日程調整ですが、審査員になられた委員の皆さんのご予定を伺ひます。
中村委員	公開審査会は、どのくらい時間がかかるものですか。
事務局	その年の申請件数にもよりますが、午後から 3 時間程度で行うように考えております。
中村委員	書類審査会はどのくらい時間がかかるものですか。
事務局	予め提出された申請書を見ていただいた上で、全ての事業について疑問点や改善点をまとめますので、2~3 時間程度いただきたいと考えております。
会長	それでは、審査員になられた皆さんのご都合を考慮して、書類審査を平成 30 年 1 月 9 日（火）午後 2 時から、公開審査会を平成 30 年 1 月 20 日（土）午後 1 時からとします。
事務局	審査員以外の方にも提出された申請書をお送りいたします。今年度どんな申請があるのかご確認ください。
会長	審査員でない委員から申請内容についての質問はできますか。

事務局	審査員でなくても事務局に質問をお寄せいただければ、申請団体へ質問があったことは伝え、公開審査会で説明できるようにしていただきます。
-----	-------------------------------------------------------------------

(3) 報償費の上限について

○事務局から、報償費の上限について説明がありました。

会長	報償費については、昨年から引き続きの課題ということですが。報償費に対して、意見・質問がある方はどうぞ。
齋藤委員	資料1（江南市地域まちづくり補助事業 平成30年度募集要領）5ページの補助対象経費に「なお、講師等謝礼以外で使用する場合（参加賞等）は、補助対象経費の3割を上限とする」とあることで、前回までの話し合いで上がっていた事業の参加者への景品や参加賞に報償費を充てることについて一定の基準が設けられたと考えます。
会長	3割という数字自体は前回までの話し合いで出ていたものですか。
齋藤委員	前回までの協議会では数字までの詳しい話し合いはできておらず、上限を決めてはどうかという話し合いだけでした。
会長	では、この3割という数字は資料3のこれまでの報償費の割合からすると上限として妥当であると感じますか。
齋藤委員	資料3があることにより、より説得力があると思います。
伊藤委員	補助対象経費の3割を上限とするとありますが、補助対象経費が20万円であると最大6万円、30万円であると9万円ということになります。補助対象経費30万円の事業で20万円は自己資金でやるけど、上限10万円の補助金のうち9万円を景品に使うという事業を対象とするのか。10万円の補助金の中で上限を決めてはどうですか。また、申請の段階では、30万円の事業で報償費は9万円使用との申請を提出し、実績報告の際は対象経費が20万円になったとなると、上限が6万円になるので9万円は支払うことができなくなり、返納の手続きをしてもらうこととなります。事務作業の負担になるのではないかと。補助対象経費の3割を上限とするのか、10万円の補助金額から〇〇円とするのかどちらかに決めた方がいいと思います。
会長	申請時と実績報告で対象経費が大きく変動したことはありましたか。
齋藤委員	これまでも実際に変動したため、返納したこともあるので、想定はしておかなければいけないと思います。
坪内委員	事業内容が運動会等の屋外で開催するものであると、天候の影響で開催できなかつたり、団体どうして日程を調整していったら結果として事業の回数が減ることはあり得ることです。

会長	事務局の考えはどうか。
事務局	事業を行う際に、参加賞等の景品の購入に3割程度であれば充ててもいいのではないかという考えです。しかし、補助対象経費の3割を上限とすることで煩雑になってしまうのであれば、補助金額から上限を〇〇円と決めてもいいと思います。その場合、〇〇円にした根拠は必要になると思います。
伊藤委員	補助対象経費の3割を上限とするのはいいと思います。 ただ、返納する可能性があるので、一つの案として補助金額から上限を決める案を出させていただきました。
坪内委員	事業費の規模や経費の内訳は、その団体ごとで異なってきます。 各団体で事業費の大小はありますが、補助対象経費の3割を上限とするほうがいいと思います。 物品費は1品あたり3万円までと絶対額で行っていますが、できるだけシンプルにした方がいいと思います。
伊藤委員	申請する方への相談やサポートの際に注意して伝えれば補助対象経費の3割を上限とすることでいいのではないのでしょうか。それを理解したうえで申請書を出していただければいいと思います。
坪内委員	毎年、要領は見直しできますので、その都度問題を修正していけばいいと思います。今年度は、補助対象経費の3割を上限として行ってみて、実施団体からの声を次年度以降取り入れるようにしていけばいいと思います。
会長	参加賞等に係る報償費の上限については、今年度は補助対象経費全体の3割を上限と決めて、相談会等の際に総事業費が大幅に変動しないようにすることを伝えたいので、申請いただくようにし、事業を行っていただくことにしましょう。
出席委員一同より了承されました。	

#### (4) 審査方法について

○事務局から、審査方法について説明がありました。

会長	採点の仕方について、より細かい採点ができるように0点を加え2点刻みから1点刻みに審査票を変更するという案ですが、皆さんの意見はいかがでしょうか。昨年までの2点刻みの採点であると点数にあまり差が出ないということでしょうか。
事務局	点差がでにくいということも理由の一つですが、点数を細かくすることで、審査員の感覚が採点に反映しやすくなるのではという考えです。
後藤委員	一つの方法として、偏差値をつけて審査するという方法もあると思い

	<p>ます。全体の平均点を出し、そこから値がどれだけ超えているのかで偏差値をつけるというやり方になります。</p>
会長	<p>この補助金制度は、偏差値 50 以上なら全ての事業を採択するというわけではなく、点数の高い順にから予算内で採択していきます。そのため、いくら偏差値が高くても不採択の場合があり、さらに、申請団体数も、昨年度実績で 10 件であるため、偏差値を出してまで審査するほど多くないと思います。</p> <p>件数が多いと、偏差値を出す価値も出てくると思います。昨年度まで、平均点で採択・不採択のいい基準ができてきていると思いますので、この件については、平均点で話を進めていきます。</p>
事務局	<p>採択点数を超えている団体でも、上位から予算の範囲内で採択を決めます。予算が余っていても、採択点数を超えない団体に対しては、不採択となります。</p> <p>また、今まで審査員間で自分が思っていた結果と違う団体があり、他の審査員との差があるのではという意見がありました。そこで、団体への点数で、最高点と最低点を省いた平均点を出しましたが、それほど差はありませんでした。</p>
後藤委員	<p>不採択の団体には、連絡はありますか。</p>
事務局	<p>公開審査会の当日に、審査結果を発表し、後日文書にて各団体に通知します。</p> <p>採択団体には、審査会で出た改善ポイントについて、不採択団体には不採択となった理由を結果と併せてお伝えします。</p>
中村委員	<p>ひろげよう！展開コースが 6 項目の採点、つながろう！連携コースが 7 項目の採点となっていますが、展開コースでは「展開性」、連携コースでは「先駆性」と「自立性」で採点項目が異なっている違いの意味と、配点が展開コースでは①目的の明確性から④実現性、つながろう展開コースでは①目的の明確性から③社会状況・市民ニーズの把握が 10 点満点であり、その他が 5 点満点の配点です。配点に違いを出す意味があるのかを教えてくださいたいです。</p> <p>また、連携コースの⑥先駆性が市民活動の観点で必要なのか、もっと必要なのは、継続性やどれだけ市民に知ってもらうのかといったことではないかと思います。</p> <p>展開コースと連携コースを同じ 6 項目で 10 点満点で採点すればいいと思います。採点は 1 点刻みでもいいが、なぜそうしたのか理由を書ける記入項目があればいいのではないかと思います。</p>
齋藤委員	<p>もともとこの事業は、連携コースのみから開始しました。連携コース</p>

	<p>の採点項目は初めからこの7項目で採点してきました。</p> <p>これまでの推進協議会の中で、まずちゃんと目的が分かっている、公益性があり、市民ニーズを捉えて実現できるということをしっかり押さえてほしいという話し合いがありました。先駆性・自立性は、補助金を出すにあたって今まで江南市になかった活動・新しい活動に補助金を充てたいという当初の思いが引き継がれています。項目ごとの点数の差は、10点満点の項目は、必ず押さえてほしいことで、5点満点は、押さえてもらえたら嬉しいプラスの項目です。展開コースを作るときに、当初は、連携コースと同じ項目で採点を行おうとしましたが、もともと連携コースはある程度事業ができる団体が、他の団体と手を結んで、自分たちだけではできなかったような事業を行ってもらおうという想定なので、展開コースには、これから活動を始める団体や、今まで活動は行ってきたけれど、少しステップアップしたいと考えている団体にもう少し始めやすいように6項目にして、展開性の中で今後の継続や拡大を含めて見ましようということになりました。</p> <p>だからと言ってこの意見が正解であるという訳ではないので、変更すべきだと思われる部分があれば、直していかなければいけないと思います。</p>
後藤委員	毎年、予算はどのくらい使っているのか。
事務局	<p>この事業に対して、予算が200万円でも申請件数が少ないため、決算が50万円程度だった年もありました。平成29年度予算は1,144,000円となっています。</p> <p>展開コースは、まず事業を始めてもらうということを大切にしたいと考えています。</p> <p>コースごとに配点が違う理由は、展開コースは課題を見つけて事業を実現することに重点を置いています。また、コースごとに予算を設けると各コースで予算が余る可能性があります。各コースで異なる配点であるものを採点し、上位から順番に採択することに無理があるのかもしれませんが、無駄なく予算を使いたいという思いもあります。</p>
中村委員	<p>展開コースの6項目で連携コースも採点すればいいと思います。</p> <p>6項目はそれぞれ事業を行う上では大切な項目なので配点に差をつける必要はないと思います。</p> <p>参加を促す意味では情報の開示性は非常に重要で、市民活動団体ではみんなに知っていただき、1人でも多く参加してもらうことは重要になると思います。また、その事業が継続することも重要だと思います。</p>

	この6項目なら市民活動の指標として事業を判断できるのではないかと思います。
会長	これは、考え方の違いで、今まで市民活動に関わってきたからこそその思いがあると思いますが、これまでも採点については、その都度修正があり、この形になってきたと思います。 昨年まで採点してみて、プレゼンの際と、実際の事業結果が明らかにかけ離れている団体があれば採点方法を考え直さなければいけないと思いますが、委員の皆さんの意見はいかがでしょうか。
水野委員	実際に補助金を利用して事業を実施しておりますが、プレゼンの際と事業がかけ離れているといった指摘はありません。
事務局	採択された事業の公開報告会での報告で、提出された事業内容と異なっているといった事業は今までなかった印象です。
会長	申請した内容と実施した事業がかけ離れているということはないようですので、今回については、事務局から示していただいている審査票で行い、今年度の公開報告会の際に、審査員の皆さんには、今回議論した審査項目のことを意識しつつ、公開報告会を聞いていただき、もしもっと詳しく審査すべきだったと思うような項目等があれば、来年度の改正を視野に入れていきたいと思います。
事務局	まちづくり補助事業の趣旨が少しずつ各NPO団体や地域の方に醸成されてきているように感じます。これまでは公益性や実現性に重きを置いてやってきました。10年やってきてある意味でのターニングポイントだというご意見だと理解しておりますけれども、今年度につきましては、事務局から提示した審査票で進めていただきたく、今年度の公開報告会が終了したのち、再度、推進協議会にて審査票の見直しを議題としてあげさせていただきたいと考えております。
中村委員	なぜこの点数にしたのかを記述式にするのはいかがですか。
齋藤委員	審査票には意見欄があるので、これまではそこに事業についての注意や改善のポイントを書いていました。
会長	審査票と同じ用紙で意見を書く方式であると、意見を書く時間がなく、次の団体のプレゼンへ移ってしまいます。そのため、審査票とは別に総評を書ける意見用紙がほしいです。
事務局	では、審査票とは別に意見用紙を用意します。
会長	今年度の審査票につきましては、事務局から提出いただきました形で進めさせていただき、あわせて振り返りをしっかり行います。また、意見用紙も用意していただくことにします。
出席委員一同より了承されました。	

(2) その他

- 事務局から、市民・協働ステーションについての説明がありました。
- 事務局から、NPO・ボランティア講座と事業型NPO支援講座についての説明がありました。
- 事務局から、NPO・ボランティアガイドの説明がありました。
- 事務局から、今後の推進協議会の予定の説明がありました。





# 江南市

# 地域まちづくり補助事業

## 平成30年度募集要領

江南市地域まちづくり補助金は…

地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていこうとする事業に対して補助を行い、地域の自治力を高めていくことを目的としています。

※【定義】地域：おおむね小学校区以上の範囲

ひろげよう！展開コース

地域課題解決の糸口となる地域住民の主体的な活動を応援し、この事業の実施が活動を充実させ、活動の展開・地域への定着につながることを期待します。

つながろう！連携コース

団体間の連携を応援し、この事業の実施が活動分野・地域の異なった団体間のネットワークづくりへとつながることを期待します。

**募集期間：平成29年11月1日(水)～12月 日( )**

問合せ・申請書などの提出先

江南市役所 地方創生推進課 地域協働グループ

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90

E-mail : [kyodo@city.konan.lg.jp](mailto:kyodo@city.konan.lg.jp)

電話：0587-54-1111（内線 323）

FAX：0587-54-0800

※申請書などの様式は、地方創生推進課でお渡しします。

また、市ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.city.konan.lg.jp/>

くらしの情報＞市民協働・市民活動＞地域まちづくり補助事業



## ◆対象となる事業

対象となる事業は2コースあります。どちらか選択し、申請してください。

### ひろげよう！展開コース

今、地域に何が必要で何に困っているか、地域で生活する住民だからこそ気づく地域の課題がたくさんあります。そこで「ひろげよう！展開コース」では、その解決の糸口となる地域住民の主体的な活動を応援し、この事業の実施が活動を充実させ、活動の展開・地域への定着につながることを期待します。

補助期間		補助金額	補助率
単年度補助事業		1年につき上限10万円	上限80%(千円未満切捨て)
複数年度継続事業	2年		
	3年		

※初年度申請時に、補助期間を選択してください。申請後の補助期間の変更は原則認めません。

※複数年度継続事業の2年目又は3年目の補助を計画どおり申請する場合であっても、再度申請書を提出し、審査・選考を受ける必要があります。

### つながろう！連携コース

地域が今後、更に成長・発展していくためには、個々の団体の活動内容が充実していくとともに、複数の団体が力をあわせて地域の課題解決にあたることが大切です。そこで「つながろう！連携コース」では、団体間の連携を応援し、この事業の実施が活動分野・地域の異なった団体間のネットワークづくりへとつながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
1年	上限20万円	上限90%(千円未満切捨て)

※2年度目の補助金額は上限16万円、補助率上限80%(千円未満切捨て)です。

2年度目の補助を希望する場合は、再度申請をして審査を受ける必要があります。

## 【事業例】

これまでは、市民活動団体のみなさんが、「市民目線」から課題（テーマ）を設定し、自分の得意分野の活動を通して、課題の解決を図る事業を提案いただいていたが、市民活動団体等によっては、地域課題の把握ができず、力を生かし切れていない面があるのではないかと考えております。

そこで、市が、市民活動団体等のみなさんに、課題（テーマ）を例示して、課題解決に向けて、意欲のある市民活動団体等より事業の提案を募集します。

今年度は、次の2事業を例示して、事業を募集します。

	事業名（担当課）	課題（テーマ）	事業内容（例）
1	江南市地域福祉活動推進事業 （福祉課）	平成30年度から計画期間がスタートする地域福祉計画の周知、地域福祉の意識醸成のため。	あいさつ運動や地域の人が集まる機会を作り、地域のつながりの重要性について知ってもらう。
2	地域の魅力発信事業 （地方創生推進課）	行政が把握していないような“地域の魅力”を探し、発信していく。	身近にありながら気が付かない江南市（地域）の魅力、ちょっと自慢したくなる魅力、10年後も残っていてほしい魅力などを住民の皆さんで探し、SNSで発信していく。 （魅力カテゴリ：歴史、文化、暮らし、自然、風景、地域の有名人、名物先生、各種ショップ、珍しい事業所など）

上記は、あくまでも事業例です。これまでどおり、上記の事業以外で、市民活動団体のみなさんが、「市民目線」から課題（テーマ）を設定し、自分の得意分野の活動を通して、課題の解決を図る事業も引き続き募集します。

## ◆事業者の要件

対象となる事業者は次のような団体です。

- ①区・町内会
- ②老人クラブ
- ③子ども会
- ④商店街振興組合
- ⑤PTA
- ⑥地域コミュニティ協議会
- ⑦NPO 等市民活動団体 など

ただし、次の団体は対象外とします。

- ①政治活動または宗教活動を目的としている団体
- ②暴力団、暴力団員が役員となっている団体、または暴力団、暴力団員と密接な関係を有している団体

## ◆事業の要件

両コース共通の要件

営利を目的とした事業ではないこと

商品の購入や製作のみを目的とした事業ではないこと

地域の理解が得られる事業であること

新たに始める事業であること。または、既存の事業であっても、補助を受けることで事業の拡大・発展等の効果が得られること

この補助金以外の補助金などを受けていない、または、受ける予定のない事業であること

同コースにおいて、過去にこの補助金を受けた事業でないこと（ただし、つながろう！連携コースについては、1事業につき2回まで補助金を受けることができます。）

つながろう！連携コースの要件

- (1) 2つ以上の団体が協力して行う事業であること

※なお、申請時に協力して行う団体間で、事業の実施及びこの補助金の申請に関して合意が得られていることを条件とします。



## ◆補助の対象となる経費

### 補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1) 報償費	団体構成員以外の講師、専門家、出演者等への報償、謝礼 ただし、団体構成員であっても、他団体から派遣され講師等をする場合は、対象とする。 なお、講師等謝礼以外で使用する場合（参加賞等）は、補助対象経費の3割を上限とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品券等の金券の購入代金</li> <li>記念品等の購入経費</li> </ul>
(2) 交通費	講師との打合せなどの交通費等 （公共交通機関かタクシーなど領収書が発行される交通手段）	旅行を目的としたイベントの旅費 ガソリン代
(3) 印刷費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費	
(4) 消耗品費	材料、消耗品等の購入費 ※1品あたり1万円以上は物品費。	
(5) 物品費	1品あたり3万円を超えないもの。 ただし、1万円未満のものは、消耗品費として計上。	
(6) 通信料	郵便料、運搬料	電話代、FAX代
(7) 保険料	ボランティア活動保険の保険料など	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(8) 委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(9) 使用料、賃借料	会場等の使用料、機器類の貸借（レンタル）料等	家賃（敷金、礼金を含む）
(10) 食糧費	会議や催しの際に最低限必要な飲み物	食事、アルコール類

※その他（事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの）が必要になった場合には、随時、設けることとする。

### その他の補助対象外経費

土地の取得、造成、補償に関する経費

団体の経常的な運営に関する経費（事務局経費など）

領収書等により支払ったことを明確にすることができない経費

その他事業実施に直接関係のない経費、市長が社会通念上適切でないとして認めた経費等

### 参加者の費用負担について

〇〇づくり講座などで、参加者から材料費などとして参加料を取ることが適当な場合は、「この事業による収入」として計上してください。

## ◆手続きの流れとスケジュール

補助金の申請から交付、報告までは次のような流れとなります。  
 交付決定は、交付年度に入ってから（4月1日以降）となります。

スケジュール	事業者	市	審査会
平成29年11月1日（水） ～12月 日（ ）	申請書提出 →	受理	
			書類審査
平成30年 月 日（ ）	公開審査会		
4月1日以降		← 交付決定 ※注1	
	概算払請求 →	補助金交付	
	補助金受領	←	
事業終了後速やかに（複数年度継続事業の場合は3月31日までに）	実績報告書提出 ※注2 概算払精算 →		
平成31年2月～3月末 （未定）	公開報告会		
平成31年3月31日		← 補助金確定	

※注1 複数年度継続事業の2年度目以降は、前年度の事業実施状況や報告内容と、次年度の申請書（※注2）に基づき継続の可否を審査し、交付決定を行います。

※注2 複数年度継続事業の場合は、各年度における事業実施実績を踏まえて次年度の申請書を作成し、実績報告書とともに提出してください。

## ◆応募について

### 募集期間

平成29年11月1日(水)～12月 日( )

### 交付申請書

募集期間中に以下の書類を市役所地方創生推進課に提出してください。

- (1) 江南市地域まちづくり補助金交付申請書
- (2) 事業計画書

団体概要 ※団体の収支決算書または予算書、規約、会則等の添付必須

事業計画 ※ひろげよう！展開コースで複数年事業を申請する場合は、「3 長期事業計画」も必要

- (3) 申請事業収支予算書

※交付申請書等につきましては、鉛筆、消せるボールペンで記入しないよう注意してください。

## ◆サポート・相談について

### ①サポート

中間支援団体(ボランティア団体等を支援することを目的とした団体)と市職員が、地域まちづくり補助金の制度概要や申請方法などに関する質問にお答えします。

### ②相談会

事業計画の立て方や活動内容を的確に伝える申請書の書き方などを中間支援団体が個別に相談に対応します。予約制とします。事前に市役所地方創生推進課へお申込みください。

日 時：平成29年11月 日( )、 日( ) 13時～16時  
(1団体につき60分程度)

場 所：市民・協働ステーション(市役所西分庁舎2階) 中会議室

定 員：各日6団体(先着順)

問合せ・申込み：地方創生推進課(Tel54-1111 内線323)

## ◆審査・選考方法

審査委員会で書類審査を行った後、公開での審査会を行います。応募(申請)者の方に事業の内容を説明していただきます。

※公開審査会に出席できない場合は、補助金を受けることはできません。

### 公開審査会

日 時：平成30年 月 日( )

場 所：江南市役所西分庁舎

審査員：市民協働・市民活動推進協議会委員及び市職員(市長政策室長、地方創生推進課長)

## 審査項目と配点

### 「ひろげよう！展開コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目標は明確か。</li> <li>・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。</li> </ul>	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く江南市民の役に立つ事業であるか。</li> <li>・地域の課題解決に役立つ事業であるか。</li> </ul>	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。</li> <li>・市民の共感が得られる事業であるか。</li> </ul>	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。</li> <li>・事業を十分に実施できる組織の体制か。</li> </ul>	10
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。</li> <li>・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。</li> </ul>	5
(6) 展開性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。</li> <li>・補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。</li> </ul>	5
合計		50

### 「つながろう！連携コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目標は明確か。</li> <li>・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。</li> </ul>	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く江南市民の役に立つ事業であるか。</li> <li>・地域の課題解決に役立つ事業であるか。</li> </ul>	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。</li> <li>・市民の共感が得られる事業であるか。</li> </ul>	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。</li> <li>・事業を十分に実施できる組織の体制か。</li> </ul>	5
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。</li> <li>・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。</li> </ul>	5
(6) 先駆性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。</li> <li>・行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。</li> </ul>	5
(7) 自立性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費、寄附金、協賛金等）に努めているか。</li> </ul>	5
合計		50

※両コースとも、各審査員が50点満点の評価を行い、平均点が30点以上のものについて、地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から採択していきます。

(例) 予算120万円の場合(予算額内の事業を採択)

点数	申請額	採択	
45	20万円	○	
40	20万円	○	
35	10万円	○	
34	20万円	○	
34	15万円	○	
32	20万円	○	累計105万円
31	20万円	×	
30	20万円	×	

交付決定、支払い

審査を経て、補助対象事業候補を決定しお知らせします。(2月中旬)

補助する事業と補助金の額の正式な決定は4月になります。

補助金は原則として概算払(全額または一部)でお支払いします。(4月下旬)

## ◆事業の実施と成果の報告

事業の実施

平成30年4月～平成31年3月

※複数年度継続事業の場合は、選択した期間(2年または3年)に事業を実施していただきますが、各年度に区切って成果を報告する必要があります。

実績報告書

事業終了後速やかに、以下の書類を提出していただきます。

複数年度継続事業の場合は、それぞれの年度において年度末までに報告書を提出していただくと共に、次年度の申請書を提出していただきます。

(1) 江南市地域まちづくり補助金実績報告書

(2) 実施報告書

※事業で作成したチラシやポスター、実施状況がわかる写真などを添付してください。

(3) 補助事業収支決算書

※必ず領収書(コピー不可)を添付してください。

公開報告会

公開報告会(平成31年2月～3月開催予定)で、事業成果の報告をしていただきます。複数年度継続事業の場合も各年度の実施状況を報告していただきます。

## ◆その他

当市が必要と認めた場合は、事業の実施途中及び完了後に関わらず、事業に関する範囲内で調査及び監査を行います。

補助金の交付を受けた団体は、作成するチラシやポスターに「江南市地域まちづくり補助事業」である旨を明示してください。また、広報こうなんへの掲載やPRの場への出席など、当事業の周知に協力してください。事業で作成したチラシやポスターなどは、実績報告書とともに提出していただきます。

「公正性」「透明性」を高めるとともに地域まちづくりの促進のため、補助金の交付額、事業内容及び活動報告等については、市ホームページへの掲載その他の方法により公表します。

## ◆交付実績

### 平成 28 年度江南市地域まちづくり補助事業

事業名	実施団体	内容
生演奏を身近に感じて楽しもう	フェリーチェ	未就学児に、フルートやピアノの生演奏に合わせて歌を歌い、絵本を読み、五感を刺激することで、好奇心を養い、創造力を豊かにする。また、感動したことを人に伝えることで、コミュニケーション能力の発達につなげる。
カローリング体験教室とカローリング大会	草井を元気にする会	子どもから高齢者まで誰でも楽しめるコミュニケーションスポーツである、カローリングを通じて、地域の多世代の人が交流することで、地域の活性化につなげる。また、高齢者の健康維持も図る。
平成 28 年度町内対抗運動会	親和会	同じ町内でも交流の機会が減少している中、町内会毎の懇親・交流のイベントとして運動会を実施し、町内の団結心を育成する。さらに、幅広く地域住民に参加を求め、近隣町内とも交流を図る。

地域の未来は 子育て支援で	江南市女性連絡協議会	成長期に合わせた遊びやストレッチなどを交えた、子育て支援セミナーを開催し、子育て支援の具体的なネットワークづくりとして次世代の子育て支援グループを育成する。
ふれあいほっと サロン ～子育てサークル を中心につなごう～	飛高親の会	地域の交流・集いの場として公民館を活用し、サロンを開催することで、多くの人と触れ合い、学び合う機会をつくる。また、情報交換や悩みを共有することにより、育児不安や孤立感を持つ母親の問題を解消する手助けをする。
野良猫意識改革 (地元・行政・ボラ ンティア団体によ る三位一体の意識 改革)	こうなん地域猫の会	命の大切さを学ぶ機会をつくり、地域住民が野良猫に対する意識を変え、地域で野良猫を見守ることにより、一匹でも不幸な猫を減らし、人と動物が快適に共存できるまちづくりを実施する。
正しい歯磨きで、 楽しい子育て！	NPO 法人 わいわいわい* 池田歯科医院	正しい歯磨きの知識を学び、毎日の歯磨き習慣を身につけることで、子供の頃から歯と口腔の健康を保つ。また、歯磨きを通じて親子のスキンシップを図るとともに、ネグレクト（虐待）の予防につなげる。
繋がれ！広がれ！ 親子の happy spot	NPO 法人 子どもと文化の森* NPO 法人 のいちご ここたん	子育て支援の団体が連携し、それぞれの特長を活かしながらイベントを開催するとともに、新たな連携の輪を広げる。また、情報交換や研修を行い、団体のレベルアップを図り、子育て環境をより良くしていく。

## 平成 29 年度江南市地域まちづくり補助事業

事業名	実施団体	内容
地域の未来は 子育て支援で	江南市女性連絡協議会	子育て中の親子にも楽しんで参加でき、生活に役立つ子育て支援セミナーを開催する。さらに、新たな子育て支援の仲間づくりを促し、子育ての不安や悩みを仲間と助け合いながら解決できる次世代の子育て支援グループへ成長するよう支援していく。

<p>平成 29 年度 町内対抗運動会</p>	<p>親和会</p>	<p>同じ町内でも交流の機会が減少している中、町内会毎の懇親・交流のイベントとして運動会を実施し、町内の団結心を育成する。さらに、幅広く地域住民に参加を求め、近隣町内とも交流を図る。</p>
<p>カローリング 体験教室と カローリング大会</p>	<p>草井を元気にする会</p>	<p>子どもから高齢者までだれでも楽しめるカローリングを広く知っていただけるよう、カローリング体験教室、投球練習会、カローリング大会を行い、多世代の人が交流することで、地域の活性化につなげ、高齢者の健康維持も図る。</p>
<p>気軽につながる いきいきサロン ～生演奏を楽しもう～</p>	<p>フェリーチェ</p>	<p>懐かしい歌を歌ったり、一緒に体を動かしたりすることで、ストレス解消、健康維持になり、また脳が活性化することによって、認知症ケアや認知予防にも繋がる。地域の拠点となるふれあいサロンで、開催することにより、地域の方々の交流を図る。</p>
<p>野良猫意識改革 (地元・行政・ボランティア団体による三位一体の意識改革) 第二期</p>	<p>こうなん地域猫の会</p>	<p>命の大切さを学ぶ機会をつくり、地域住民が野良猫に対する意識を変え、地域で愛される一代限りの地域猫となるべく避妊、去勢を行い、暖かい目で見守ることにより一匹でも不幸な猫を減らし、人と動物が快適に共存できるまちづくりを実施する。</p>
<p>江南市を活性化する リーダー育成事業</p>	<p>江南市ジュニア ボランティアクラブ (KJVC)</p>	<p>中高生を対象に地域で貢献できるジュニアリーダーとなるように研修会や勉強会を実施し、子ども達自身に主体性を持たせ、事業を展開していくことで、将来、地域を引っ張っていけるような人材を育成する。</p>
<p>講師派遣型 介護予防教室</p>	<p>宮後第一これから会 老人クラブ</p>	<p>運動と頭の体操を取り入れた介護予防教室の開催により、高齢者の健康増進、認知症予防を行う。老人クラブに加入していない高齢者にも働きかけ、地域のつながりの強化を図る。身近な場所(公会堂)で仲間と楽しく行うことで長続きする。将来的には講師を養成し、自立した教室の開催を目指す。</p>

<p>親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう</p>	<p>*NPO 法人 わいわいわい 池田歯科医院</p>	<p>正しい歯についての知識を身につけてもらい、歯磨きの重要性と正しい歯磨きの方法を講演会を通じて伝えることで、子供の頃から歯と口腔の健康を保つ。 また、歯磨きを通じて親子のスキンシップを図るとともに、ネグレクト（虐待）の予防につなげる。</p>
<p>親子の happy spot ～子どもの育ち親の育ちを支える支援の輪～</p>	<p>NPO 法人 子どもと文化の森* NPO 法人 のいちご ここたん</p>	<p>親子リズム遊びや人形劇、様々な遊びのコーナーを通じて体験型のイベントに併せて子育てに役立つ子育ての応援になる講座を行う。 市内の中学生に対し、自他の命を大切にすることや自尊感情が持てるように働きかけ、乳幼児とのふれあい事業を行う。事業を通じて子の育ち、親の育ち、生命の慈しむ気持ちの育ちをサポートしていく。</p>
<p>高齢者の問題 (認知症について) 地域で考え、 地域で支えよう</p>	<p>*江南地域の SOS ネットワーク LR パートナース</p>	<p>認知症サポーターと一緒に認知症を知り、地域で支えるために認知症サポーター養成講座を開催する。 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、高齢者を地域ぐるみで見守るネットワークを作る。 将来的に江南市内の社会的問題を市民と考える場所、基幹を立ち上げる初めの一歩となりたいと考える。</p>

※は代表団体です。

過去の交付事業、実施の様子は、市ホームページ「江南市地域まちづくり補助事業の今」のページでご覧いただけます。

※くらしの情報＞市民協働・市民活動＞地域まちづくり補助事業＞江南市地域まちづくり補助事業の今

[http://www.city.konan.lg.jp/chiiki\\_kyodo/volunteer/hojo\\_jigyo/hojojigyo\\_now.html](http://www.city.konan.lg.jp/chiiki_kyodo/volunteer/hojo_jigyo/hojojigyo_now.html)

求む!アイデア力!!

H30年度分  
募集開始  
H29.12/ まで



# 地域まちづくり補助事業

《補助金の額》

「継続は力なり」続ける力を養おう。(1 団体でも申請できます。)

① ひろげよう! 展開コース : 上限 **10** 万円

「三本の矢」連携から生まれる力があります。

② つながろう! 連携コース : 上限 **20** 万円

## 応募相談会

申請書の書き方などについて中間支援団体（ボランティア団体等を支援することを目的とした団体）が個別に相談を受け付けます。相談時間は1 団体につき1 時間程度です。

《日時》

**11** / ( )、( )

午後 1 時~4 時

《場所》

市民・協働ステーション 中会議室

江南市役所 地方創生推進課

TEL 54-1111(内線 323) FAX 54-0800  
E-mail kyodo@city.konan.lg.jp

年 月 日

(あて先) 江南市長

(申請者) ※代表団体  
団体名

代表者名

㊟

江南市地域まちづくり補助金交付申請書

江南市地域まちづくり補助金の交付を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の名称

2 事業コース ※どちらか1つコースを選択してください。

ひろげよう！展開コース ( 年目 / カ年)

つながろう！連携コース ( 年目)

3 事業費総額 ※申請事業収支予算書の「事業費総額」の額を記載してください。

金 \_\_\_\_\_ 円

4 補助金申請額 ※申請事業収支予算書の「地域まちづくり補助金C」の額を記載してください。

金 \_\_\_\_\_ 円 (1,000円未満切捨て)

5 添付書類

① 事業計画書

② 申請事業収支予算書

6 連絡責任者 ※代表者と異なる場合のみ記載してください。

氏名		
住所	〒	
連絡先	TEL :	FAX :
	E-mail :	

# 江南市地域まちづくり補助金（つながろう！連携コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

## 1 団体概要

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。）

### ① 代表団体

名称			
代表者	㊟	設立年月	会員数
住所	〒		
連絡先	TEL :		FAX :
	E-mail :		
設立の目的・これまでの活動内容等			

### ② 連携団体（複数ある場合は、記入枠を複写し、各々の団体分記載してください。）

名称			
代表者	㊟	設立年月	会員数
住所	〒		
連絡先	TEL :		FAX :
	E-mail :		
設立の目的・これまでの活動内容等			

2 事業計画（                      年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名

② 問題意識

事業をはじめようと思うきっかけについて具体的に記載してください。

③ 目指すビジョン

②に対応して、事業を実施することでどのようになりますか。

④ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

⑤ 市民参加・協働の拡大

市民にどのような参加の機会を提供できますか、連携団体とどのように連携・協力していきますか。

⑥ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定

⑦ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

⑧ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

※補助期間終了後の経済的自立面について、以下の項目を選択してください。

- 参加費等の対価収入で収益を見込んでいる。
- 対価収入＋補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- 対価はとれないため、補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- その他 ※具体的方法を記載してください。

⑨ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

## 江南市地域まちづくり補助金（ひろげよう！展開コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

### 1 団体概要

名称			
代表者	Ⓜ	設立年月	会員数
住所	〒		
連絡先	TEL :		FAX :
	E-mail :		
設立の目的・これまでの活動内容等			

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。(区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。)

### 2 単年度事業計画（年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名
② 問題意識
事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。
③ 目指すビジョン
②に対応して、事業を実施することでどのようになりますか。市民にどのような参加の機会を提供しますか。目指す、望ましい状態を記載してください。

④ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

⑤ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定

⑥ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

⑦ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

※補助期間終了後の経済的自立面について、以下の項目を選択してください。

- 参加費等の対価収入で収益を見込んでいる。
- 対価収入＋補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- 対価はとれないため、補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- その他 ※具体的方法を記載してください。

⑧ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

3 長期事業計画（複数年事業を申請する場合に記載）

① 事業計画 ※各々の年度の事業の概要を記載してください。

2年目	3年目

② 予算額

(単位:円)

		2年目	3年目
事業費総額			
財 源 内 訳	事業収入		
	補助金申請額		
	自己資金		

## 申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	
-----	--

### 【支出】

(単位：円)

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費		
	交通費		
	印刷費		
	消耗品費		
	物品費		
	通信料		
	保険料		
	委託料		
	使用料、賃借料		
	食糧費		
	合計	<b>A</b>	
対象外経費			
	合計		
合計			= 「事業費総額」

### 【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 <b>B</b>		
地域まちづくり補助金 <b>C</b>		
自己資金 <b>D</b>		
合計		= 「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 <b>A</b>	この事業による収入 <b>B</b>	補助率 (8 か 9)	地域まちづくり補助金 <b>C</b>
(	—	)	×
		/10	=
			(1,000 円未満切捨て)

「事業費総額」	この事業による収入 <b>B</b>	地域まちづくり補助金 <b>C</b>	自己資金 <b>D</b>
	—	—	=

※このチェック票は、申請書といっしょに提出してください。

## 地域まちづくり補助金 申請のためのチェック票

↓ チェックしてください

代表団体名	
-------	--

- 事業の実施団体は、公益的な団体か。  
※区・町内会、老人クラブ、子ども会、商店街振興組合、PTA、地域コミュニティ協議会、NPO等市民活動団体（政治団体、宗教団体、暴力団等を除く。）
- 事業の実施、補助金の申請について、団体内で（連携コースについては連携する団体も含めて）調整ができていないか。
- 申請事業は、団体内の親睦的な活動になっていないか。
- 申請事業は、他の補助金を受けていない、また、受ける予定のない事業か。

（申請書：1枚目）

- 「補助金交付申請額（内訳）」の各欄は、「事業の収支予算」と合っているか。
- 補助金交付申請額は、千円未満切り捨てになっているか。
- 各コースに設定された補助率、上限額で計算しているか。  
{展開コース} 補助率 80%、上限額 10 万円（2、3 年目の上限額は初年度申請した額）  
{連携コース} 補助率 90%、上限額 20 万円（2 年目はそれぞれ 80%、16 万円）

（申請書：事業を実施する団体、連携団体）

- 事業を実施する団体（連携コースについては連携する全ての団体）の「団体の概要」は添付されているか。規約、会則等は添付されているか。  
※区・町内会、老人クラブ、子ども会、PTAは不要
- 団体（連携コースについては連携する全ての団体）の直近の収支決算書または予算書は添付されているか。

（申請書：事業の収支予算）

- 「この事業による収入」は適切に計上されているか。
- 支出の「対象経費」に対象外の経費は含まれていないか。
- 計算に誤りはなく、収入合計と支出合計は一致しているか。

（その他）

- 審査会 {平成30年1月20日（土）} に出席できるか。

年 月 日

(あて先) 江南市長

(申請者) ※代表団体  
団体名

住所 〒 -

電話番号

代表者名

㊞

江南市地域まちづくり補助金実績報告書

年 月 日付け江地第 号で交付決定のあった江南市地域まちづくり補助事業が完了しましたので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 事業の名称

2 補助事業の完了年月日

5 補助金交付決定額及びその精算額

(ア) 交付決定額 ※交付決定通知書の交付決定額を記載してください。

金 \_\_\_\_\_ 円

(イ)精算額 ※補助事業収支決算書の「地域まちづくり補助金C」の額を記載してください。

金 \_\_\_\_\_ 円 (1,000 円未満切捨て)

6 添付文書

③ 事業実施報告書

④ 事業収支決算書

## 江南市地域まちづくり補助事業 実施報告書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

① 事業名
② 事業の内容とふりかえり 事業の経過と結果、特に工夫したことについて、具体的に記載してください。当初計画との変更点があれば、変更点と変更理由をあわせて説明してください。
③ 事業の成果 地域にどのような変化をもたらしましたか。
④ 今後の取組み、協力依頼
1) 今後の方向性 ※いずれかにチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 当該活動を終了する
2) 活動の展開・地域への定着のために今後必要なことは何ですか。
3) 今後、どのように他団体や行政、企業と協力していきたいですか。

※事業で作成したチラシやポスター、実施状況がわかる写真などを添付してください。

## 補助事業収支決算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	
-----	--

### 【支出】

(単位：円)

項目		決算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費		
	交通費		
	印刷費		
	消耗品費		
	物品費		
	通信料		
	保険料		
	委託料		
	使用料、賃借料		
	食糧費		
	合計 <b>A</b>		
対象外経費			
	合計		
合計			= 「事業費総額」

### 【収入】

(単位：円)

項目	決算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 <b>B</b>		
地域まちづくり補助金 <b>C</b>		
自己資金 <b>D</b>		
合計		= 「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 <b>A</b>	この事業による収入 <b>B</b>	補助率 (8 か 9)	地域まちづくり補助金 <b>C</b>			
(	—	)	×	/10	=	

※地域まちづくり補助金 **C** は、交付決定額を上限とし、1,000 円未満切捨てます。

「事業費総額」	この事業による収入 <b>B</b>	地域まちづくり補助金 <b>C</b>	自己資金 <b>D</b>	
	—	—	=	

## つながろう！連携コース 記載例

### 江南市地域まちづくり補助金（つながろう！連携コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

#### 2 団体概要

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。）

#### ③ 代表団体

名称	〇〇〇の会				
代表者	江南 太郎 ㊞	設立年月	平成 20 年 4 月	会員数	10 人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地				
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		
	E-mail : kyodo@××△△.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<b>設立の目的:音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。</b>					
<b>これまでの活動内容:地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートを行っています。</b>					

#### ④ 連携団体（複数ある場合は、記入枠を複写し、各々の団体分記載してください。）

名称	△△△クラブ				
代表者	江南 花子 ㊞	設立年月	平成 21 年 4 月	会員数	48 人
住所	〒483-□□□□ 江南市□□町□□□□番地				
連絡先	TEL : 0587-□□-□□□□		TEL:0587-□□-□□□□		
	E-mail : konan@〇〇××.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<b>設立の目的:地域の子どもに対して、文化活動、社会活動の機会の提供し、子どもの豊かな感性を伸ばし、青少年の健全育成に寄与することを目的に設立しました。</b>					
<b>これまでの活動内容:乳幼児保育事業、親子の自然体験教室、舞台・芸術鑑賞会、子育てに関する講演会や研修会を開催しています。</b>					

## 2 事業計画（平成〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名
<b>気軽にクラシック</b>
② 問題意識 事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。
<b>クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。</b> <b>しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。</b> <b>また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。</b>
③ 目指すビジョン ②に対応して、事業を実施することでどのようになりますか。
<b>小さな子どもを持つ親子が参加してもらえるように、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かすことで、楽しみながら演奏を聴き、ストレス解消、心身の健康維持及び脳の活性化にもつながります。</b> <b>また、地域の公民館や保育園、子育て支援センター等で開催することによって、同じように子育て中の親子の交流イベントとなることを目指しています。</b>
④ 事業の内容及び実施方法 内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。
<b>内容:有名なクラシック曲、最近のポップスや子どもに人気の楽曲を中心とした参加型演奏会</b> <b>方法:キーボード、バイオリン、サックス、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。</b> <b>会場:市内の公民館、保育園、子育て支援センター、市民文化会館(音楽室)等</b> <b>対象:誰でも参加可(主に子育て世代対象)</b> <b>時間:1時間～1時間30分のプログラム</b> <b>実施内容:有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。また、リズムに合わせて体を動かすことで自律神経の健やかな発達を促し、心と体のバランスを整えるリトミックを行います。</b> <b>チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。</b>

⑤ 市民参加・協働の拡大

市民にどのような参加の機会を提供できますか、連携団体とどのように連携・協力していきますか。

**小さな子どもを持つ家族が参加しやすい環境を整えるため、連携団体と協働して会場運営を行います。**

**また、保育事業等の会員に対して広報を行い、広く参加を促します。**

**子どもに人気のある楽曲の選定や親子でいっしょに体を動かせる振付けの作成を協働で行います。**

⑥ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、平成〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4月中旬	連携団体と打合せ、地区の代表者や保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会
12月〇日	市民文化会館(音楽室)で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

⑦ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

**楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。**

**また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで親子のコミュニケーションのきっかけになると考えています。**

⑧ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

**今後は、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。**

※補助期間終了後の経済的自立面について、以下の項目を選択してください。

- 参加費等の対価収入で収益を見込んでいる。
- 対価収入＋補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- 対価はとれないため、補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- その他 ※具体的方法を記載してください。

⑨ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

## 申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

### 【支出】

(単位：円)

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	20,000	講師謝礼(リトミック指導員)
	交通費	0	
	印刷費	10,000	チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	42,204	楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 託児用マット 5,800円×2枚=11,600円 折り紙 540円 画用紙 540円 クレヨン 1,382円×2セット=2,764円 1万円未満
	物品費	46,450	アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 1万円以上3万円未満
	通信料	1,840	切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	24,500	来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×58人
	委託料	20,000	楽曲アレンジ 1曲 10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300	会場借上げ料(市民文化会館音楽室)2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	9,125	お茶(打合せ) 125円×月4回×12ヶ月=6,000円 お茶(演奏会) 125円×5本×5回=3,125円
	合計 A	178,419	
対象外経費	お菓子代	13,800	お茶菓子 13,800円
			ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外です。
	合計	13,800	(詳しくは、募集要領5ページ)
合計	192,219	=「事業費総額」	

### 【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 B	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 C	120,000	
自己資金 D	22,473	
合計	192,219	=「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 <b>A</b>	この事業による収入 <b>B</b>	補助率 (8 か 9)	地域まちづくり補助金 <b>C</b>
( 178,419 )	10,000	9 /10	151,000
			(1,000 円未満切捨て)

「事業費総額」	この事業による収入 <b>B</b>	地域まちづくり補助金 <b>C</b>	自己資金 <b>D</b>
192,219	10,000	151,000	31,219

# ひろげよう！展開コース 記載例

## 江南市地域まちづくり補助金（ひろげよう！展開コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

### 1 団体概要

名称	〇〇〇の会				
代表者	江南 太郎 ㊞	設立年月	平成 20 年 4 月	会員数	10 人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地				
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		
	E-mail : kyodo@××△△.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<p><b>設立の目的:音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。</b></p> <p><b>これまでの活動内容:地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートをを行っています。</b></p>					

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。(区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。)

### 2 単年度事業計画（平成〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名	<b>気軽にクラシック</b>
② 問題意識	<p>事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。</p> <p><b>クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。</b></p> <p><b>しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。</b></p> <p><b>また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。</b></p>

### ③ 目指すビジョン

②に対応して、事業を実施することでどのようなになりますか。市民にどのような参加の機会を提供しますか。目指す、望ましい状態を記載してください。

**小さな子どもを持つ親子が気軽に参加してもらえるように、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったりして、楽しみながら演奏を聴くことで、ストレス解消、リラクゼーション効果、心身の健康維持及び脳の活性化にもつながります。**

**また、地域の公民館や保育園、子育て支援センター等で開催することによって、同じように子育て中の親子の交流イベントとなることを目指しています。**

### ④ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

**内容:有名なクラシック曲、最近のポップスや子どもに人気の楽曲を中心とした参加型演奏会**

**方法:キーボード、バイオリン、サクソ、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。**

**会場:市内の公民館、保育園、子育て支援センター、市民文化会館(音楽室)等**

**対象:誰でも参加可(主に子育て世代対象)**

**時間:1時間～1時間30分のプログラム**

**実施内容:有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。**

### ⑤ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、平成〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4月中旬	地区の代表者や保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会を開催
12月〇日	市民文化会館(音楽室)で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

### ⑥ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

**楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラクゼーション効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。**

**また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで家族のコミュニケーションのきっかけになると考えています。**

⑦ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

**今後は、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。**

※補助期間終了後の経済的自立面について、以下の項目を選択してください。

- 参加費等の対価収入で収益を見込んでいる。
- 対価収入+補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- 対価はとれないため、補助・寄附金等の外部資金獲得をめざしていく。
- その他 ※具体的方法を記載してください。

⑩ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

3 長期事業計画（複数年事業を申請する場合に記載）

③ 事業計画 ※各々の年度の事業の概要を記載してください。

2年目	3年目
演奏会の場所や回数を増やし、多くの方に音楽を身近に体験してもらおう活動を進めていきます。さらに、参加者がいっしょにリズムに合わせて体を動かすプログラムも実施していきます。	老人施設やサロン等にも訪問し、外出の機会が余りないシニア世代の方々に生演奏を聴いてもらい、いっしょに歌うことによって、ストレス解消、心身の機能向上、脳の活性化を促していきます。

④ 予算額

(単位:円)

		2年目	3年目
事業費総額		110,000	110,000
財源内訳	事業収入	0	0
	補助金申請額	88,000	88,000
	自己資金	22,000	22,000

## 申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

### 【支出】

(単位：円)

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	0	
	交通費	0	
	印刷費	10,000	チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	26,760	楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 1万円未満
	物品費	46,450	アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 1万円以上3万円未満
	通信料	1,840	切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	11,000	来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×10人
	委託料	20,000	楽曲アレンジ 1曲 10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300	会場借上げ料(市民文化会館音楽室)2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	9,125	お茶(打合せ) 125円×月4回×12ヶ月=6,000円 お茶(演奏会) 125円×5本×5回=3,125円
合計	<b>A</b>	129,475	
対象外経費	お菓子代	13,800	お茶菓子 13,800円
			ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外です。 (詳しくは、募集要領5ページ)
	合計	13,800	
合計		143,275	=「事業費総額」

### 【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 <b>B</b>	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 <b>C</b>	95,000	
自己資金 <b>D</b>	38,275	
合計	143,275	=「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 <b>A</b>	この事業による収入 <b>B</b>	補助率 (8か9)	地域まちづくり補助金 <b>C</b>
( 129,475 )	− 10,000 )	× 8 /10	= 95,000
(1,000円未満切捨て)			

「事業費総額」	この事業による収入 <b>B</b>	地域まちづくり補助金 <b>C</b>	自己資金 <b>D</b>
143,275	− 10,000	− 95,000	= 38,275

## 江南市地域まちづくり補助事業審査委員会設置要綱

## (目的)

第1条 江南市地域まちづくり補助事業（以下「補助事業」という。）の審査を行うため、江南市地域まちづくり補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (組織)

第2条 委員会は、7人の委員で構成する。

2 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

(1) 江南市市民協働・市民活動推進協議会委員

(2) 市長政策室長

3 委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (会長)

第3条 委員会に会長を置き、会長は、委員のうち学識経験を有する者をもって充てる。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

## (会議)

第4条 委員会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

## (庶務)

第5条 委員会の庶務は、市長政策室地方創生推進課において処理する。

## (雑則)

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成20年4月9日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成23年11月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

・江南市地域まちづくり補助事業 報償費割合表

資料3

年度	団体名	事業名	補助対象経費 (A)	報償費 (B)	報償費割合		報償費内訳
					対補助対象経 費(B/A)	うち謝礼以外	
26	すいとぴあラジオ体操クラブ	ラジオ体操を正しく学ぼう	53,659	0	0%	0%	
	NPO法人 のいちご	縁側親子交流会	148,111	0	0%	0%	
	一般社団法人 ガールスカウト愛知県第11団	みんな集ろう！ 親子で体験わくわくひろば	99,282	3,000	3%	0%	調理指導員への謝礼
	織音	ダウン症啓発活動のためのオリジナル曲と DVD 作成、オリジナル曲の発表	349,784	3,000	1%	0%	手話通訳者への謝礼
27	江南市女性連絡協議会	地域の未来は子育て支援で	125,510	48,400	39%	0%	講師謝礼 (45,000円) 託児謝礼 (3,400円)
	NPO法人 のいちご	四季を楽しむお遊び会	126,560	4,688	4%	0%	講師謝礼 (1,924円) 駐車場借用謝礼 (2,764円)
	大相撲湊部屋を応援する小折 町区民の会	生きいき交流会～大相撲湊部屋応援～	105,031	40,000	38%	0%	力士謝礼 (10,000円×2人×2回)
	親和会	町内別対抗運動会	171,523	144,861	84%	84%	景品購入費 (121,889円) クイズ景品 (20,000円) 景品冷却用氷 (2,972円)
	江南市国際交流協会	心をつなぐ多文化紙芝居	220,600	35,000	16%	0%	紙芝居原本作成者謝礼 (5,000円×7人)
28	江南市女性連絡協議会	地域の未来は子育て支援で	136,134	35,000	26%	0%	講師謝礼 (10,000円、15,000円、10,000 円)
	親和会	平成28年度 町内対抗運動会	178,114	149,916	84%	84%	景品購入費 (119,916円) クイズ景品 (30,000円)
	草井を元気にする会	カローリング体験教室とカローリング大会	121,484	47,367	39%	25%	審判謝礼 (15,000円) 大会賞品代 (30,207 円)
	こうなん地域猫の会	野良猫意識改革(地元・行政・ボランティ ア団体による三位一体の意識改革)	144,742	0	0%	0%	
	フェリーチェ	生演奏を身近に感じて楽しもう	125,241	0	0%	0%	
	飛高親の会	ふれあいほっとサロン～子育てサークルを 中心につなごう～	70,015	7,000	10%	0%	講師謝礼
	特定非営利活動法人 わいわいわい	親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう	228,495	0	0%	0%	
	特定非営利活動法人 子どもと文化の森	繋がれ！ひろがれ！親子のhappy spot	228,154	112,260	49%	0%	講師謝礼 (88,260円) 託児謝礼 (10,000 円) ファシリテーター謝礼 (12,000円) ス クールバス運行謝礼 (2,000円)

年度	団体名	事業名	補助対象経費 (A)	報償費 (B)	報償費割合		報償費内訳
					B/A	うち謝礼以外	
29 (予定)	江南市女性連絡協議会	地域の未来は子育て支援で	121,720	30,000	25%	0%	講師謝礼
	親和会	平成29年度 町内対抗運動会	189,900	156,500	82%	82%	景品購入(125,000円)クイズ景品(30,000円) 冷却用水(1,500円)
	草井を元気にする会	カローリング体験教室とカローリング大会	146,667	50,000	34%	24%	大会賞品(35,000円)審判謝礼(15,000円)
	こうなん地域猫の会	野良猫意識改革(地元・行政・ボランティア団体による三位一体の意識改革)第二期	208,700	0	0%	0%	
	フェリーチェ	気軽につながるいきいきサロン～生演奏を楽しもう～	121,360	0	0%	0%	
	宮後第一これから会老人クラブ	講師派遣型介護教室	126,800	120,000	95%	0%	講師謝礼(2,500円×4回×12か月)
	江南市ジュニアボランティアクラブ	江南市を活性化するリーダー育成事業	358,200	100,000	28%	0%	講師謝礼(50,000円×2回)
	特定非営利活動法人 わいわいわい	親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう	206,508	0	0%	0%	
	特定非営利活動法人 子どもと文化の森	親子のhappy spot～子どもの育ち親の育ちを支える支援の輪～	185,640	112,000	60%	0%	講師謝礼(100,000円)託児謝礼(12,000円)
江南地域のSOSネットワーク	高齢者の問題を地域で考え地域で支えよう	171,000	30,000	18%	0%	講師謝礼(10,000円×3回)	

## 平成 30 年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

## 1. 補助金の交付決定の方法

（1）補助金は、江南市地域まちづくり補助事業審査委員会が申請事業について、補助金交付の適否及び補助金の額を審査し、その審査結果を受けて市長が決定します。

審査は次の方法で行います。

① 書類審査：補助金の交付申請として提出いただいた書類の審査

② 公開審査：申請者によるプレゼンテーション（5分）と審査委員からの質疑と応答

（2）当該年度の予算の範囲内で、審査基準に示す点数の高い順に対象事業を採択します。

## 2. 審査員（江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員）

市民協働・市民活動推進協議会委員のうち、互選された委員 5 名（学識経験者含む）と市長政策室長及び地方創生推進課長が、審査員として審査を行います。

専門性や中立的な立場から審査をするため、できるだけ申請者と直接関わりのない委員を選任することとし、学識経験者を含めるものとします。

## 3. 審査基準

審査項目は、コースごとに、次のような内容を判断の視点とします。

各審査委員が 50 点満点の評価を行い、平均点が 30 点以上の申請事業を地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から補助金の対象事業とします。（申請者と直接関わりのある委員は、当該申請事業の審査には参加しません。）

「両コース共通の項目」

## （1）目標の明確性

- ・ 事業の目標は明確か。
- ・ 事業の実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。

## （2）公益性

- ・ 広く江南市民の役に立つ事業であるか。
- ・ 地域の課題解決に役立つ事業であるか。
- ・ 市民の参加や参画が推進される内容になっているか。
- ・ 団体構成員の親睦または構成員相互の利益となる事業にならないか。

## （3）社会状況・市民ニーズの把握

- ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容になっているか。
- ・市民に共感が得られる事業であるか。

(4) 実現性

- ・事業内容は実現可能なものか。
- ・事業の実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。
- ・事業を十分に実施できる組織の体制か。
- ・事業内容と事業費のバランスはよいか（費用対効果はどうか）。

(5) 情報の開示性

- ・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。
- ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすくなっているか。

「ひろげよう！展開コースの項目」

(6) 展開性

- ・発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。
- ・補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。

「つながろう！連携コースの項目」

(7) 先駆性

- ・内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。
- ・行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。
- ・市民団体としての活動の特性が上手く活かされている事業であるか。

(8) 自立性

- ・補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費、寄付金、協賛金等）に努めているか。
- ・補助金を得られなくなった場合でも活動を継続できるか。

4. 補助事業実施報告会・評価

補助金実績報告書を提出するとともに、公開の報告会を開催しますので、その場において事業実施の報告を行っていただきます。

◇平成 30 年度江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

(任期は平成 31 年 3 月 31 日までとする。)

氏 名	区 分
	江南市市民活動・市民活動推進協議会会長
	江南市市民活動・市民活動推進協議会委員
	江南市市民活動・市民活動推進協議会委員
	江南市市民活動・市民活動推進協議会委員
	江南市市民活動・市民活動推進協議会委員
片野 富男	市長政策室長
坪内 俊宣	市長政策室地方創生推進課長

# 江南市地域まちづくり補助事業審査票

～ひろげよう！展開コース～

審査委員名	
-------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

**【満点50点】**

## ① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない						
1 0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

## ② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない						
1 0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

## ③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である						
1 0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

## ④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない						
1 0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

## ⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である	
5	4	3	2	1	0

## ⑥ 展開性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない	
5	4	3	2	1	0

評点合計	
------	--

# 江南市地域まちづくり補助事業審査票

～つながろう！連携コース～

審査委員名

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

**【満点50点】**

① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない
1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0				

② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない
1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0				

③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である
1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0				

④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない
1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0				

⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である
5 4 3 2 1 0				

⑥ 先駆性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない
5 4 3 2 1 0				

⑦ 自立性

十分自立性がある	⇔	ややある	⇔	自立性がない
5 4 3 2 1 0				

評点合計

## 平成 29 年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領

### 1. 補助金の交付決定の方法

(1) 補助金は、江南市地域まちづくり補助事業審査委員会が申請事業について、補助金交付の適否及び補助金の額を審査し、その審査結果を受けて市長が決定します。

審査は次の方法で行います。

③ 書類審査：補助金の交付申請として提出いただいた書類の審査

④ 公開審査：申請者によるプレゼンテーション（5分）と審査委員からの質疑と応答

(2) 当該年度の予算の範囲内で、審査基準に示す点数の高い順に対象事業を採択します。

### 2. 審査員（江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員）

市民協働・市民活動推進協議会委員のうち、互選された委員 5 名（学識経験者含む）と市長政策室長及び地方創生推進課長が、審査員として審査を行います。

専門性や中立的な立場から審査をするため、できるだけ申請者と直接関わりのない委員を選任することとし、学識経験者を含めるものとします。

### 3. 審査基準

審査項目は、各コースごとに、次のような内容を判断の視点とします。

各審査委員が 50 点満点の評価を行い、平均点が 30 点以上の申請事業を地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から補助金の対象事業とします。（申請者と直接関わりのある委員は、当該申請事業の審査には参加しません。）

「両コース共通の項目」

#### (1) 目標の明確性

- ・事業の目標は明確か。
- ・事業の実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。

#### (2) 公益性

- ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。
- ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。
- ・市民の参加や参画が推進される内容になっているか。
- ・団体構成員の親睦または構成員相互の利益となる事業にならないか。

#### (3) 社会状況・市民ニーズの把握

- ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容になっているか。
- ・市民に共感が得られる事業であるか。

(4) 実現性

- ・ 事業内容は実現可能なものか。
- ・ 事業の実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。
- ・ 事業を十分に実施できる組織の体制か。
- ・ 事業内容と事業費のバランスはよいか（費用対効果はどうか）。

(5) 情報の開示性

- ・ 広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。
- ・ 事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすくなっているか。

「ひろげよう！展開コースの項目」

(6) 展開性

- ・ 発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。
- ・ 補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。

「つながろう！連携コースの項目」

(7) 先駆性

- ・ 内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。
- ・ 行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。
- ・ 市民団体としての活動の特性が上手く活かされている事業であるか。

(8) 自立性

- ・ 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費、寄付金、協賛金等）に努めているか。
- ・ 補助金を得られなくなった場合でも活動を継続できるか。

4. 補助事業実施報告会・評価

補助金実績報告書を提出するとともに、公開の報告会を開催しますので、その場において事業実施の報告を行っていただきます。

◇平成 29 年度江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

(任期は平成 29 年 3 月 31 日までとする。)

氏 名	区 分	備 考
宇野 和明	江南市市民協働・市民活動推進協議会会長	愛知江南短期大学学長
柴田 熙	江南市市民協働・市民活動推進協議会委員	
新 英子	江南市市民協働・市民活動推進協議会委員	
早瀬 裕子	江南市市民協働・市民活動推進協議会委員	
峰松 雅幸	江南市市民協働・市民活動推進協議会委員	
片野 富男	市長政策室長	
坪内 俊宣	江南市市民協働・市民活動推進協議会委員	地方創生推進課長

# 江南市地域まちづくり補助事業審査票

～ひろげよう！展開コース～

審査委員名

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

**【満点50点】**

## ⑦ 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	あまり明確でない
10	8	6	4	2

## ⑧ 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	あまり公益性がない
10	8	6	4	2

## ⑨ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である
10	8	6	4	2

## ⑩ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	あまり実現性がない
10	8	6	4	2

## ⑪ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である
5	4	3	2	1

## ⑫ 展開性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	継続が見込めない
5	4	3	2	1

評点合計

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）

# 江南市地域まちづくり補助事業審査票

～つながろう！連携コース～

審査委員名	
-------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

**【満点50点】**

## ① 目的の明確性

明確である ⇔ やや明確である ⇔ あまり明確でない

10	8	6	4	2
----	---	---	---	---

## ② 公益性

高い公益性がある ⇔ 公益性がある ⇔ あまり公益性がない

10	8	6	4	2
----	---	---	---	---

## ③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている ⇔ 把握されている ⇔ 不十分である

10	8	6	4	2
----	---	---	---	---

## ④ 実現性

実現性が高い ⇔ 実現性がある ⇔ あまり実現性がない

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

## ⑤ 情報の開示性

十分である ⇔ ややある ⇔ 不十分である

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

## ⑥ 先駆性

先駆的である ⇔ やや先駆的 ⇔ 先駆的ではない

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

## ⑦ 自立性

十分自立性がある ⇔ ややある ⇔ あまり自立性がない

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

評点合計	
------	--

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）

